

栃木市内河川の治水対策 復旧状況を追って

日向野義幸県議会議員が「とちぎを守る・命を守る」をモットーに、栃木市の治水対策に全力で取り組んでいます。

栃木市には、2015年台風18号（平成27年関東・東北豪雨）、そして、2019年10月の台風19号（令和元年東日本台風）と大きな台風が来襲しました。特に令和元年東日本台風では、永野川と赤津川との合流地点と二杉橋下流、そして、両毛線永野川橋梁付近での堤防決壊による氾濫によって、栃木市内中心部と下流域に甚大な被害がありました。東日本台風では、台風の接近により関東甲信地方をはじめ、東北地方で降雨量が観測史上1位を更新する記録的な大雨となり、栃木県の山間部では、奥日光で512ミリ、足尾で438ミリの大雨となりました。平野部の栃木でも305ミリを記録しました。



復旧工事後の永野川の風景

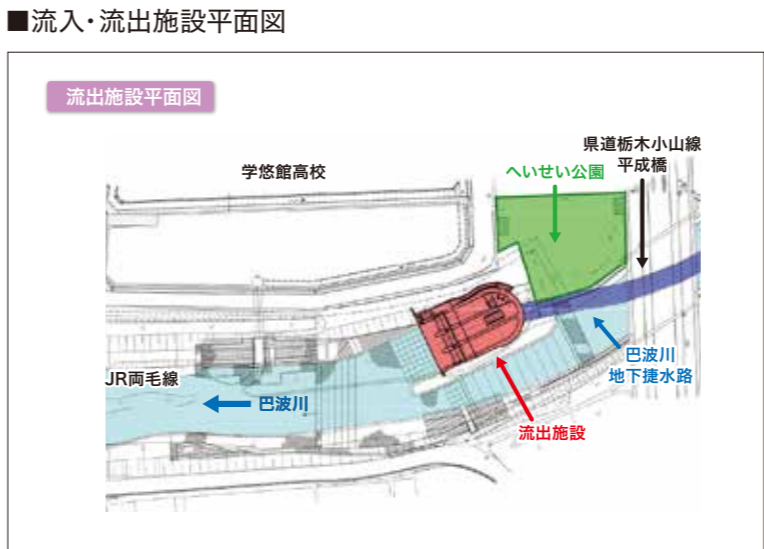
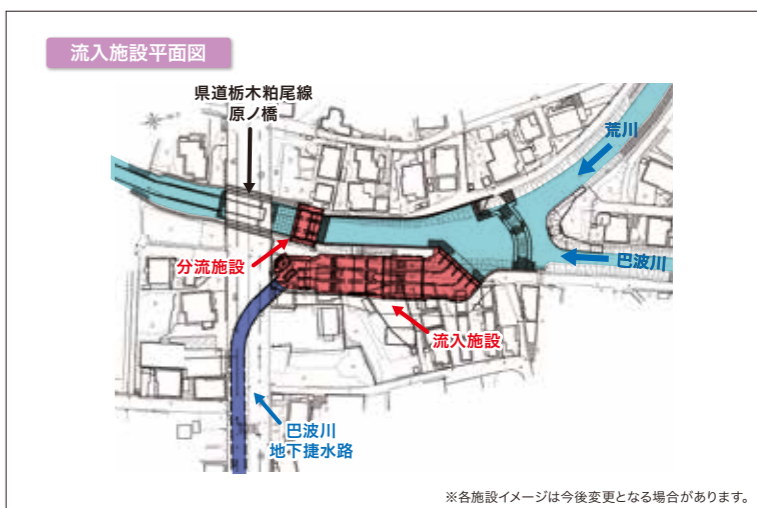
栃木県では、特に被害の大きかった県道栃木佐野線から下流の国道50号線までの区間、約12キロうち延長10・6キロにおいて、国の採択を受け、災害復旧事業として、河道掘削、護岸、堤防嵩上げ、橋梁架け替え等を実施しています。事業費は194億円で、事業期間は令和元年から令和7年の予定です。事業の約8割が完了し、現在は、最終の工事となる取水堰・橋梁等改良復旧工事に伴い改築となる施設の工事が行われています。

巴波川洪水対策で 地下トンネル工事

2019年台風19号で氾濫した巴波川の改良復旧事業として、栃木県によって令和9年（2027）の年度末完成を目指して洪水を迂回させる地下トンネル工事が進められています。

通常の改良復旧は河川を拡幅して流下能力の向上を図ることになりますが、巴波川沿い景観への影響などを考慮して、洪水を分流、迂回させるトンネルを「蔵の街大通り」の地下に整備することになりました。事業延長は大町の流入施設から、沼和田町の流出施設までの2・4キロで、地下10メートルの深さに直径5・5メートルのトンネルを整備します。基準の水位を超えた場合に洪水を流し入れます。地下トンネルは毎秒60トンの水量を流下させ、巴波川の「ほぼ全量」を流下させる計画となっています。

地下トンネル内に流入した「洪水」は、サイホン構造により自然流下で下流へ流出することになります。台風19号と同程度の洪水であれば床上浸水被害は解消されます。事業費は178億円の大規模事業です。



地下トンネルの流入施設（栃木市大町・荒川との合流地点下流）及び、流出施設（沼和田町）の平面図を土木事務所の許可を得て掲載しました。

巴波川地下トンネル 整備スケジュール

令和2～5年度 施設詳細設計、用地調査
令和6年度 交渉・買収補償、工事着手
令和7～9年度 到達立坑工事・地下トンネル工事
令和10年度 地下トンネル工事



工事が進行する流出施設（沼和田町）

編集・発行 ひがの義幸後援会総連合会
発行日 令和7年（2025）2月11日
編集発行責任者 高田 良久
事務局 〒328-0075 栃木県栃木市籍森町7-9
TEL 0282-23-8855 FAX 0282-23-8856
E-mail info@higano.jp

ひがの義幸 ホームページ・ツイッター アドレス
H P www.higano.jp
Twitter https://mobile.twitter.com/yoshiyukihigano

未来ネットワーク通信

2025年新春号

ひがの義幸 新年の抱負

県民に開かれた県議会の実現

明けましておめでとうございます。県民の皆様には、穏やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。昨年を振り返ると、元旦に能登半島地震が発生し多くの被災者の悲痛な嘆きに心を痛めた幕開けでした。



一方国外に目を転じれば、長引くウクライナ紛争やイスラエル・パレスチナ紛争等々の終焉を見通せず、加えてアメリカのトランプ大統領の再選により為替の変動や対外貿易関税措置の行方など先行き不透明な国

際情勢が続いています。また我が国では、政治と金の問題で政局が大きく後退し国民の信頼を失う中、先の国政選挙で自由民主党は議席を大きく減らし少数与党に転落しました。国民の声を傾けず国民不在の政治を続けてきた自由民主党に対する有権者の厳しい審判でした。政治の混乱は、日本自体の混乱を意味します。

混乱を極める内外の情勢にあって、一日も早い政局の安定と国民に信頼される自由民主党の再生を切に願うものであります。さて私は、昨年3月に会派を超えた多くの議員の皆様のご推挙と栃木市民の皆様のご支援助により、栄えある第111代栃木県議会議長を拝命することができました。明治12年、私の住む栃木市で産声を上げた栃木県議会は、多くの先人たちが今日まで、栃木県政を支え、その歴史と伝統、そして責任を紡いで参りました。

その先人たちに恥じる事が無き様、議長として決して慢心することなく、二元代表制の一翼を担う県議会が、その役割をしっかりと果たせるよう、公平・公正で活発な議会運営や県民の皆様身近に感じていただける開かれた県議会の実現に意を用いて取り組んでいます。

また今年、県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」の計画期間が最終年度を迎える重要な年度であり、現プランの総仕上げと、「未来に誇れる新しいとちぎづくり」の「道しるべ」となる次期プランの策定に6期目を迎えた福田富一知事と二人三脚で全力で取り組んで参ります。更に、引き続き、地方から政治を変える気概を持って、県民の皆様から真に必要とされる県議会のあるべき姿を皆様と共に求めて参りたいと思います。私は、政治家の役割は、今を良くすること

東京都心・羽田空港直通電車構想実現へ 自治体・経済界で期成同盟会設立

JR東日本が2031年度の開業を目指し、羽田空港アクセス線を整備する方針を示しています。

2023年（令和5年）に着工した東山手ルートには、JR宇都宮線、高崎線、常磐線からのアクセスも可能なため、一刻も早く運動をはじめ、他線に先がけてJR東日本に申し入れる必要があります。このような状況を踏まえて、2024年10月、東武日光線沿線の栃木市、鹿沼市、日光市の自治体や商工関係者により「東京都心・羽田空港直通電車推進期成同盟会」が設立されました。

東西地域の振興と 利便性向上に寄与



期成同盟会は、沿線自治体の市長及び担当部長、市議会議長、商工會議所会頭、地区商工会長等が構成メンバーになり、自治体と経済界が一体となって、東西地域の振興につなげることに

蛇は十二支の中で唯一脱皮をすることから、「成長と変革」の年とされています。社会も経済も、そして政治に至っても変革の時を迎えている中、県民の皆様一人一人が幸せと成長を実感されることのできる一年となるよう、我々も全力で刷新に努めて参る所存であり、皆様の御健康と御多幸を祈念し念頭のご挨拶といたします。

栃木県議会議長 日向野義幸 拝

総会では役員選任行われ大川秀子栃木市長が会長に就任しました。今後は、直通電車実現に向けて、JR東日本や東武鉄道への要望活動、そして、地域住民への啓発活動を行うとのことです。日向野義幸後援会では、2019年の県議選で日向野義幸県議が掲げた「東武JR直通電車構想」実現のため、高田良久後援会長を中心にプロジェクトチームを作り、調査研究を進めてきました。

お役立ち電車構想実現 期成同盟会の活動支援

東武鉄道栗橋駅でJR宇都宮線に接続、東京駅へ、そして、羽田空港まで、乗り換えなしの「お役立ち電車」実現に取り組んでいます。直通電車の実現によって、所要時間は、大宮駅へ48分。東京駅へ76分と、所要時間は、短縮されます。東武の快適性・利便性向上によって、通勤圏も拡大し、インバウンドの増加も見込まれ、定住人口・交流人口が増加し、地域の振興にもつながります。日向野後援会としては、今後も、期成同盟会と連携して、日向野義幸県議を先頭に、「お役立ち電車構想」実現のため、期成同盟会活動の支援に取り組んでまいります。

未来ネットワーク通信

ひがの義幸 県政だより

2025年新春号

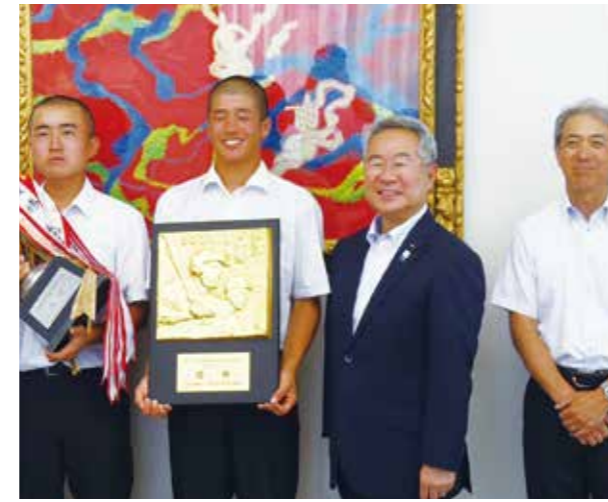
とちぎを守る。命を守る。



国民スポーツ大会に続いて開催される「全国障害者スポーツ大会」の栃木県選手団結団式が開催されました。誰もが自身の可能性を発揮出来る共生社会の実現を目指し、選手の皆さんが躍動と活躍を誓いました。



栃木県立石橋高校が県大会を制して念願の夏の甲子園へ！県民の期待に応え躍動する“石橋旋風”に一喜一憂！「凱旋報告」に来てくれました。選手の暑い夏に勇気と感動を貰いました。



「SAGA2024国民スポーツ大会」の開会式。栃木県選手団の一員として笑顔いっぱいの入場行進。熱戦を繰り広げた競技会場では、大きな歓声が響き渡りました。



県議会を県民の皆様身近に感じてもらうため、ラジオパーソナリティの永井壘さんとフリーアナウンサーの出井文恵さんに「栃木県議会ナビゲーター」を委嘱しました。県民の皆様と県議会の架け橋となって開かれた県議会を広くPRしていただきたいと思います。



とちぎの未来を考える「県政ミーティング」。さくら清修高校・宇都宮清陵高校生徒の皆さんに参加をいただき、県議と活発な意見交換を行いました。生徒の皆さんが自分たちの住む地域の課題や栃木県の将来のことを真剣に考え、課題解決のための提案までしてくれたことに感謝です。



栃木県議会は、全国でも数少ない「通年議会制」を執っています。この制度は、災害やパンデミック（感染拡大）などの有事に機動的・即応的に対応し、直ちに予算や、それらに関わる事業を議決執行することによって社会的不安や課題を解決することを目的として取り組んでいます。



議長就任後直ちに「記者会見」と、「とちぎテレビ・栃木放送（ラジオ）」の取材が続きます。携帯電話には、お祝いのメッセージが次々と…本当にありがたい。



「緊張の議長選挙」先輩・同僚議員のご支援のお陰で議長を拝命することが出来ました。心からの感謝です。



公益社団法人「とちぎ環境・みどり推進機構会長」として、マロニエメイツの皆さんとハイチーズ。私達の命を支える緑の大切さを県民運動として広めます。



栃木県初の「林業大学の落成記念式典・入学式」。県土面積の約54%を占める山林を守り・育て・活かす、若手林業従事者皆さんへの期待は大きい。



やっと落ち着いて「議長室執務テーブル」でパチリ！いよいよ新議長としてのお仕事スタートです。



駐日インド大使館イベント「栃木デー」が都内のインド大使館で執り行われました。シビ・ジョージ駐日インド大使と共にインドと日本両国そして栃木県との発展的協調関係を誓い今後の経済・文化の交流を進めていきます。



「栃木県障害者スポーツ大会開会式」で手話を使っの挨拶に悪戦苦闘！障害を感じさせない皆さんの素晴らしいパフォーマンスに会場からは大きな歓声が贈られました。



「全国都道府県議会議長会定例総会」で全国の議長さんと活発な意見交換。共通する地域課題や特色ある施策に思わずヒートアップ…熱気に包まれた会場でした。



「栃木県建設業協会定時総会」で挨拶。頻発・激甚化する自然災害から県民の暮らしと命を守る防人として、防災・減災・県土強靱化の推進、快適な街づくり、頼りにしています。